

c 滞在・回遊環境づくり

c-1 インフォメーション・サイン

●来街者向けの回遊案内板（エリアマップ）の設置の検討

<案内図や設置場所など検討>

- ・歩道上の植栽マスへの案内板の設置について、区役所を通じて準備協議。
- ・昨年度に作成した案内マップの掲示を参考に、整備・管理スキームの構築を進める

<今後の調査・検討等>

○ 回遊案内板の管理・更新体制の検討

- ・設置にかかる整備費の資金調達をはじめ、案内板の管理運営体制の検討を行い円滑な管理体制づくりをすすめる。

【インフォメーションマップのイメージ…参考：大阪西成ライオンズクラブ作成】



c-2 地域アートプロジェクト

■ 高架下壁面等のアートプロジェクトの検討

<高架下壁面等のアートプロジェクトについて>

- ・ 南海電鉄との協議により、高架下空き区画の壁面などを活用したアートプロジェクト
- ・ 実施に向けた検討に着手
- ・ 地域アートプロジェクトとして、まちの団体などとの連携
…実施推進の方向性を確認
- ・ 地域との協働により、アートイメージの検討・設置経費・運営管理などを検討

<今後の調査・検討等>

- 地域アートプロジェクトの運営体制の検討

【専門部会の概要】

■ 第1回 観光振興専門部会

日 付：H25 年 10 月 02 日(水)

時 間：10：00～12:00

場 所：西成区役所 4-8 会議室

出席者：

【有識者】松村(阪南大学)、寺川(近畿大学)

【地域メンバー】村井、山田純、西口

【西成区】柴生総合企画担当課長

【大阪市】松下観光施策担当課長(経済戦略局)、中谷地域開発担当課長(都市計画局)

【事務局】天野・山本

1. 今年度の検討テーマ・調査について

- ・今年度の目標と中長期的な目標を定める

○検討テーマ

- ・簡易宿所の条例上の取り扱い
 - 旅館業法関係条例の改正に伴い福祉住宅から簡易宿所への転用時に強い制限がある
 - 条例未改正時の転用実現の可能性検討
- ・西成の拠点機能について
 - 簡易宿所の集客（宿泊）機能
 - 周辺地域との機能連携・・・浪速区との連携など
 - 商店街空き店舗等の活用
- ・国道拡幅部分などの効果的な活用
 - 屋台村構想
 - 駅前バス発着場
 - 新今宮地区観光まちづくり推進協議会との連携
- ・サイン計画（公的案内版）

○調査内容

- ・商店街の店舗調査（空き店舗、活用可能店舗）
 - 地域メンバーの村井区商連会長へのヒアリング
 - 商店街店舗状況を不動産業者へヒアリング
 - 商店街の空き店舗の状況等を把握
- ・簡易宿所の転用可能性調査
 - 条例規制がない場合の転用意向や転用可能物件の調査
- ・長距離バス（観光バス）関係
 - 近年の動向（増減）、ルートほか・・・需給バランス調査
 - 新今宮にバスターミナルの可能性検討
 - 既存ターミナル状況調査

- ・屋台村構想について
 - 歩道のイベント使用事例調査（御堂筋）
 - 未利用地の活用

2. 地域メンバーについて

- ・上田、西口、村井、山田純

■ 第2回 観光振興専門部会

日 付：H25 年 11 月 11 日(月)

時 間：10：00～12:00

場 所：西成区役所 4-5 会議室

出席者：

【有識者】松村(阪南大学)、寺川(近畿大学)

【地域メンバー】村井、山田純、西口、上田

【西成区】柴生総合企画担当課長

【大阪市】松下観光施策担当課長(経済戦略局)、中谷地域開発担当課長(都市計画局)

【事務局】天野・山本

1. 商店街ヒアリング報告

- ・区商連会長ヒアリングの報告
- ・ヒアリングの概要： 商店街の概要（所有関係や店主の意向） / 今後の商店街の体制 / 店舗の活用 / 中国資本の店舗の増加
- ・まちづくり視点での地域拠点導入について、空き店舗情報と出店者情報を公平にマッチングするためには、信頼できるマネジメント団体の必要性（区の参画が得られれば、信用度が高まる）

2. テーマ別検討の概要

○国際ゲストハウスエリアについて

- ・商店街の店舗活用について
- ・長距離バスや観光バスの実態及び動向調査
- ・浪速区との連携
- ・簡宿組合との連携
- ・新今宮観光まちづくり推進協議会との連携

○屋台村構想について

- ・他都市事例調査
- ・運営方法についての検討

○看板設置について

- ・看板設置にかかる設置者や場所確保の仕組みづくり

観光振興専門部会（第1回観光振興専門部会のまとめ）

現 状	テーマ	調査など	ソフト系 ハード系 活動モデル・政策目標（案）
・「大阪市旅館業の施設の構造設備の基準に関する条例」の変更に伴い福祉マンションから簡宿への変更が不可能な状況になっている。	●簡易宿所の取り扱い	・簡宿転用の実態把握 →所有者の意向把握 →建物転用可能かを調査	・将来展望を見据えた条例運用（改訂など） ・空き店舗活用コンペなどの検討、実施
・商店街の空き店舗化、観光拠点や地域拠点として衰退化している。	●商店街の空き店舗等の活用	・空き店舗の把握 →商店街へヒアリング →不動産屋へのヒアリング	・行政との空き店舗活用コンペなどの検討、実施
・阿倍野筋の国道拡幅事業 ・観光拠点としての魅力が少ない	●屋台村構想（ナイトマーケット）	・歩道のイベント使用事例（御堂筋等） ・実現までのステップ	・屋台実験の検討、実施
・交通の結末点としての新今宮のポテンシャルが活かされていない。	●駅前バスターミナル	・長距離バス（観光バス）の増減、ルート、受給バランスの増減調査 ・近隣ターミナルの状況把握（OCAT、近鉄、難波）	・サイン計画（地域案内版） ・マップづくり
・外国人、観光客への案内が不足している。	●インフォメーション		
※観光振興部会の各事業の関連づくり			
連 携	●新今宮地区観光まちづくり推進協議会との連携 ●浪速区との連携		

■ 第3回 観光振興専門部会

日 付：H25 年 12 月 09 日(月)

時 間：10：00～12:00

場 所：西成区役所 4-7 会議室

出席者：

【有識者】松村(阪南大学)、寺川(近畿大学)

【地域メンバー】村井、山田純、西口、上田

【西成区】柴生総合企画担当課長

【大阪市】松下観光施策担当課長(経済戦略局)、中谷地域開発担当課長(都市計画局)

【事務局】天野・山本

1. テーマ別検討の概要

○実態調査

- ・簡易宿所等の区内宿泊・滞在者の意向調査の内容検討
 - 調査方法：簡易宿所宿泊者アンケート
 - 調査内容：基礎的調査内容を検討・・・聞きとりできる内容を検討

○活用可能施設等の抽出

- ・地域資源活用専門部会にて検討

○モデルプロジェクトの検討

- ・商店街：プロポーザル型出店者等の募集について(モデル事業)
- ・アート：シャッターアート・南海高架下アートプロジェクト
 - 地域住民、まちの団体などと連携実施
 - 商店街アートも含めたアートプロジェクトチームの結成
- ・簡易宿所：福祉マンションの今後について
 - 山谷の事例把握(補助の取り組みや免許について)
- ・拠 点：バスターミナル（交通結節）機能の整備について
- ・その他：まちの公共 Wi-Fi 環境整備の検討（特に外国人向け）

■ 第4回 観光振興専門部会

日 付：H26年1月10日(金)

時 間：10:00~12:00

場 所：西成区役所 4-7 会議室

出席者：

【有識者】松村(阪南大学)

【地域メンバー】村井、山田純、西口、上田

【西成区】柴生総合企画担当課長

【大阪市】松下観光施策担当課長(経済戦略局)、中谷地域開発担当課長(都市計画局)

【オブザーバー】大川副局長(大阪観光局)

【事務局】天野・山本

1. 検討テーマ等

○大阪フリーWi-Fi

- ・大阪市内全体の整備状況について

○バスターミナル

- ・OCA Tのバスターミナルの状況報告

2. シンポジウムに向けて

- ・地域の需要を見極めた、多目的道路使用の考え方
- ・商店街の空き店舗スペースの活用
- ・観光拠点のモデルプロジェクト

→簡易宿所に泊まって、地域で消費して地域での滞在を楽しんでもらう方法

- ・屋台村構想について
- ・案内・インフォメーションについて

→地域案内の設置

→鉄道事業者との連携検討

【今後のスケジュール】

- ・シンポジウム 2月3日(月)

2) シンポジウムについて

シンポジウムの概要

第5回専門部会は、公開型の専門部会としてシンポジウム形式の会議を行った。シンポジウムは、地域資源活用専門部会との合同で開催した。

観光振興専門部会については、専門部会での検討概要と課題のほか、屋台村ナイトマーケットの事例紹介等についての報告を行った。

シンポジウムでは、有識者からの基調報告と専門部会地域メンバーからの補足説明と合わせて、会場参加者と意見交換を行った。

会場からは、地域資源活用専門部会の報告事項とあわせて、西成特区構想実現に向けた着眼点（優先事項）等について意見があり、専門部会委員との意見交換が行われ、部会での検討の方向性について理解を得ることができた。